

果樹カメムシ類情報第3号

平成30年8月1日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

8月上旬以降、ヒノキ林から離脱し、果樹園に飛来する可能性あり！
ヒノキ球果量がやや多く、生息頭数も多いので、新世代成虫が多くなる可能性大！

1 チャバネアオカメムシの発生状況

- (1) 予察灯における誘殺数は、現在のところ豊橋市ではやや少なく、新城市では平年並に推移しています(図1)。
- (2) フェロモントラップにおける誘殺数は、豊田市、幸田町、豊川市、新城市のいずれの地域でも、7月以降、やや少ない状況です。

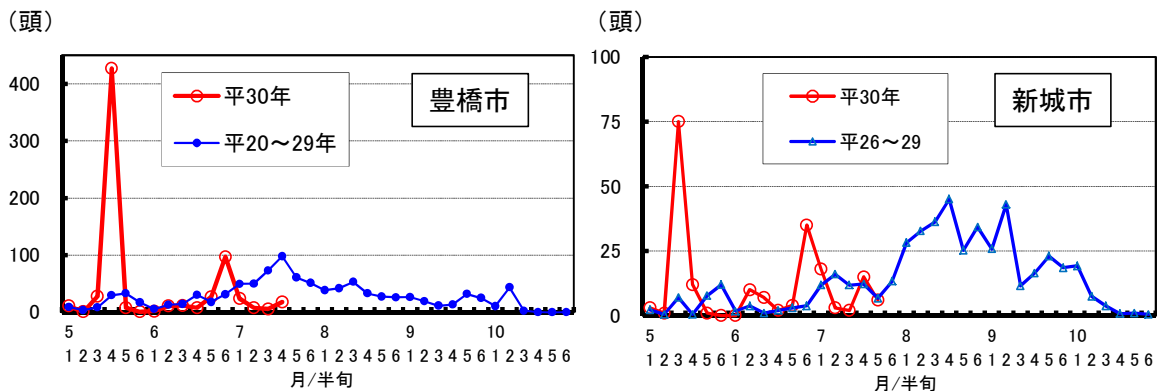


図1 予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺状況

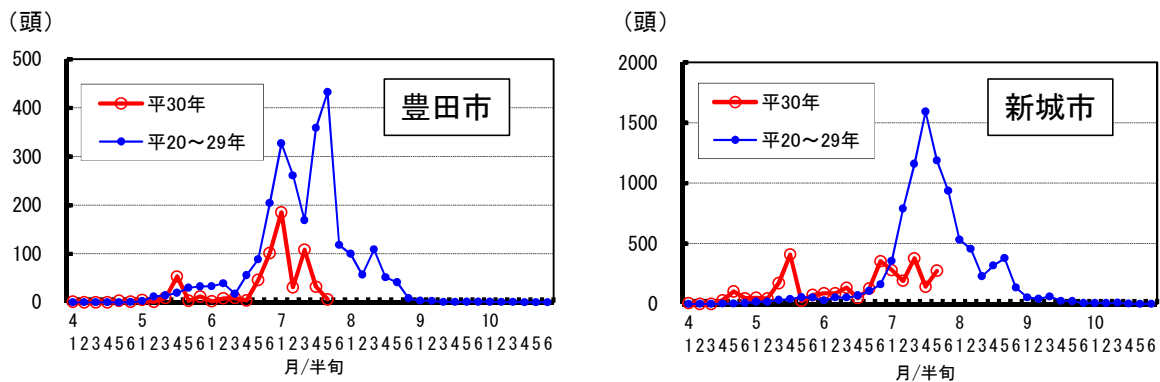


図2 フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシの誘殺状況

- (3) 7月中下旬にヒノキ林で調査を行ったところ、ヒノキ1結果枝当たりのチャバネアオカメムシの生息虫数は、成虫が0.50頭(平年0.28頭)、幼虫は1.02頭(平年0.34頭)で(図3)、過去10年と比較して成虫は3番目、幼虫は2番目に多い状況でした。

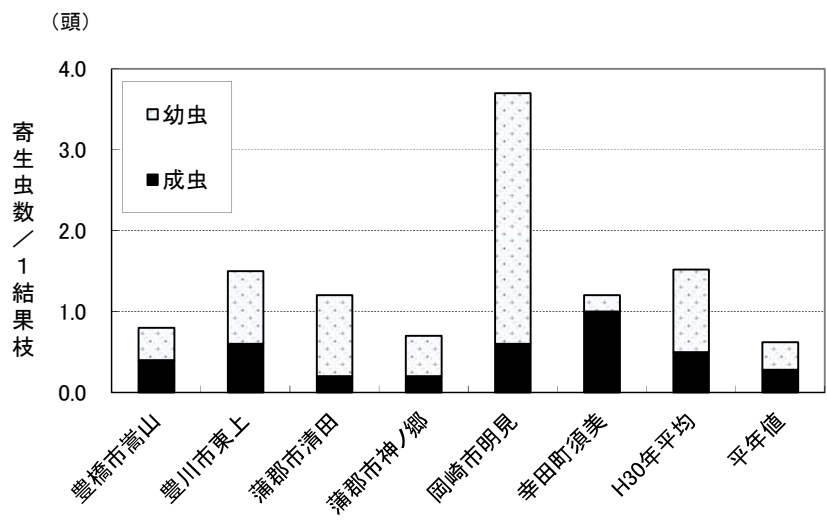


図3 7月中下旬のヒノキ球果におけるチャバネアオカメムシ生息虫数

2 今後の発生予測

- (1) 現在は、越冬世代成虫から新世代成虫への世代交代時期に入っています。県内のヒノキ球果の着生量がやや多く、ヒノキ1結果枝当たりのチャバネアオカメムシ幼虫の寄生数もやや多いことから、8月上旬以降に発生する新世代成虫の発生量は、平年と比較してやや多くなると予測します。
- (2) ヒノキ球果におけるカメムシ類の口針鞘数（吸汁した痕）が25本になると、餌として不適になるため、ヒノキ林から離脱すると言われていています。7月20日、23日に採取したヒノキ球果における口針鞘数から、離脱開始時期を予測したところ、表1のとおりとなりました。蒲郡市神ノ郷町や幸田町では8月上旬に、その他の地域でも8月下旬までには離脱を開始すると予測します。

表1 ヒノキ球果におけるカメムシ類の口針鞘数

調査地点	豊橋市 高山町	豊川市 東上町	蒲郡市 清田町	蒲郡市 神ノ郷町	岡崎市 明見町	幸田町 須美
1球果当たりの口針鞘数	6.5	4.3	7.5	9.2	6.3	9.8
離脱開始予測時期	8月下旬	8月下旬	8月中旬	8月上旬	8月下旬	8月上旬
ヒノキ球果採取日：7月20日、23日						

- (3) 中山間部に近い果樹園や例年飛来量が多いほ場では、園内の発生状況に十分に注意し、飛来を確認したら防除しましょう。特に、スギ・ヒノキ林の近くの果樹園では、台風通過などで突発的に飛来が急増することがありますので、注意しましょう。